

平成29年度
環境活動レポート

(対象期間：平成29年1月～平成29年12月)

発行年月日：平成30年6月1日

株式会社 山下組

目 次

| | | |
|---|---------------------------------|------|
| 1 | 環境方針 | P.2 |
| 2 | 事業概要&認証登録範囲 | P.3 |
| 3 | 実施体制 | P.4 |
| 4 | 環境目標 | P.5 |
| 5 | 環境活動計画 | P.6 |
| 6 | 環境目標の実績 | P.7 |
| 7 | 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容 | P.9 |
| 8 | 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無 | P.10 |
| 9 | 代表者による全体評価と見直し結果 | P.10 |

1 環境方針

〈環境理念〉

株式会社山下組は、全社員が環境問題を認識し、建設業の事業活動を通じて、社員一丸となって環境負荷の低減に取り組んで行くことを誓約します。

〈行動指針〉

1、二酸化炭素の排出量の削減に努めます。

電気・LPG・ガソリン・軽油・灯油の消費量の削減を徹底

2、一般廃棄物・産業廃棄物の削減に努めます。

事務所の一般廃棄物・現場の産業廃棄物の排出量の削減を徹底

3、水の適正な利用と排水量の削減に努めます。

事務所における節水を徹底

4、環境に配慮した工事を推進します。

周辺環境に配慮した施工を提案

5、グリーン購入の推進に努めます。

再生資源・資材を積極的に購入

6、事業活動に関連する法規制は、確実に遵守します。

関係する法令の理解と遵守の徹底

7、地域の環境保全活動に積極的に参加します。

地域の清掃活動の積極的な参加

制定日：平成25年7月31日

株式会社 山下組

代表取締役社長 菅原 陽一

2 事業概要 & 認証登録範囲

1 名称及び代表者名

株式会社 山下組
代表取締役社長 菅原 陽一

2 所在地

本社 岩手県花巻市上根子字石川原78番地1
TEL 0198-22-2111
FAX 0198-22-2110

3 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 取締役 菅原 健太
TEL・FAX 本社と同じ

4 事業活動の内容

土木工事・建築工事・とび土工工事・舗装工事

5 許可の内容

建設業許可 岩手県知事(特-24)第840号
産業廃棄物収集運搬業 第00302154769号(自社分のみの収集運搬)

6 事業規模

資本金 7,000万円

| 項目 | 単位 | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 |
|--------|----------------|--------|--------|--------|
| 売上高 | 百万円 | 2538 | 3257 | 2428 |
| 従業員 | 人 | 40 | 35 | 36 |
| 事務所床面積 | m ² | 478.6 | 478.6 | 478.6 |
| 倉庫床面積 | m ² | 499.2 | 499.2 | 499.2 |

7 認証登録範囲

全組織・全事業活動が認証登録範囲

8 営業範囲

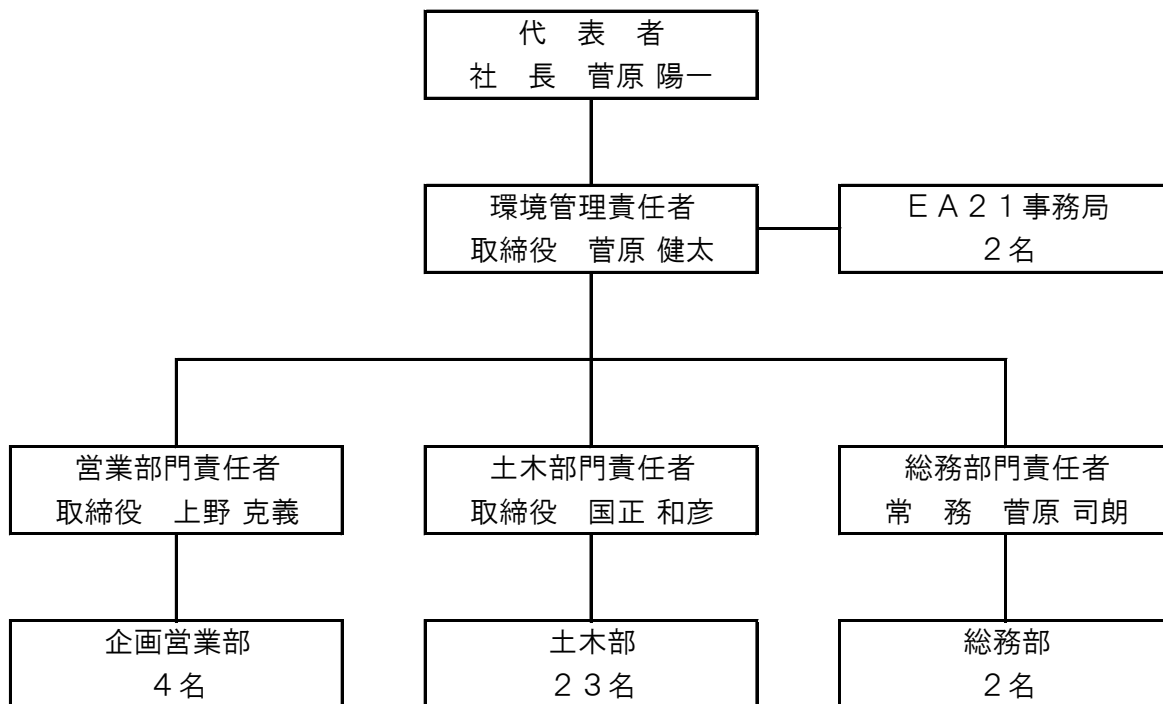
岩手県全域及び宮城県内の一部市町村

9 社歴

大正 9年 4月 1日 創業
昭和30年 4月 2日 建設業登録 資本金100万円
昭和37年 4月 2日 菅原万次郎 代表取締役社長に就任
昭和40年11月10日 資本金 400万円に増資
昭和47年12月27日 資本金 1,000万円に増資
昭和51年12月 1日 花巻市不動産に本社移転
昭和52年 5月17日 資本金 4,000万円に増資
昭和53年12月 5日 資本金 5,000万円に増資
昭和61年10月16日 資本金 7,000万円に増資
平成 5年 2月17日 菅原 一司 代表取締役社長に就任
平成16年 2月10日 菅原 一司 代表取締役会長に就任
菅原 陽一 代表取締役社長に就任
平成19年10月15日 花巻市上根子字石川原に本社移転

3 実施体制

1 組織図



2 役割・責任・権限表

| 役割 | 責任・権限 |
|-------------|---|
| 代表者 | <ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者を任命し、方針(環境理念・行動指針)を決定する 取組みに必要な資源(人員・設備・費用)を用意する 全体の評価と見直しを行う |
| 環境管理責任者 | <ul style="list-style-type: none"> 代表者に代わってエコアクション21の構築・運用を行う 代表者に取組み結果を報告する 環境活動レポートを作成し、公開する |
| E A 2 1 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者を補佐する 必要なデータの集計・分析を行う 各部門の取組み状況を把握し、環境管理責任者に報告する |
| 部門責任者 | <ul style="list-style-type: none"> 各業務で取組みを推進・実施し、社員の取組みをチェックする 必要な教育訓練を計画・実施する 環境管理責任者に報告し、是正・改善処置を行う |
| 全社員 | <ul style="list-style-type: none"> 決められたことを守り、部門責任者の下で取組みを徹底して行う エコアクション21に関する教育訓練やセミナーを受講し、理解を深める 地域貢献活動に積極的に参加する |

4 環境目標

1 環境負荷の実績

表1 主な環境負荷等の実績

本社

| 項目 | 単位 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|----------|--------------------|--------|--------|--------|--------|
| 二酸化炭素排出量 | kg-CO ₂ | 65,758 | 61,105 | 61,215 | 60,316 |
| 一般廃棄物排出量 | kg | 2,370 | 1,740 | 1,150 | 1,600 |

注：二酸化炭素排出に係る電力の排出係数は、H23年度の東北電力の実排出係数0.547kg-CO₂/kWhを用いて算定した
 総排水量の項目が無いのは、当社では地下水をポンプで汲み上げて利用しており、計測不可能な為

現場

| 項目 | 単位 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|----------|--------------------|---------|---------|---------|---------|
| 二酸化炭素排出量 | kg-CO ₂ | 467,241 | 408,235 | 314,838 | 334,134 |
| 産業廃棄物排出量 | t | 11.75 | 55.59 | 40.98 | 12.96 |

注：産業廃棄物は焼却と最終処分した分の数量で、集計期間は4月～3月

2 環境目標の設定

当社では、平成24年度を基準年度として中期及び単年度の環境目標を、それぞれ表2のとおり設定し、環境活動に取り組んでおります。

表2 環境目標

基準年度(平成24年度)比の削減(増加)率(%)

| 項目 | 単位 | 基準年 | 中期目標(内単年度目標) | | |
|-----------|--------------------|--------|--------------|--------|--------|
| | | 平成24年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 二酸化炭素排出量 | kg-CO ₂ | 基準値 | 2.5%削減 | 3.0%削減 | 3.5%削減 |
| 一般廃棄物排出量 | kg | | 2.5%削減 | 3.0%削減 | 3.5%削減 |
| 産業廃棄物排出量 | t | | 2.5%削減 | 3.0%削減 | 3.5%削減 |
| 環境配慮工事の推進 | 件 | | 2件 | 2件 | 2件 |
| グリーン購入 | 購入率(%) | | 30% | 30% | 30% |

注：総排水量の削減については、地下水をポンプで汲み上げているので電氣量の削減により管理する

5 環境活動計画

当社では、環境方針に基づいて二酸化炭素・廃棄物を削減し、環境目標を達成する為に社員一丸となって取り組んでいます。取組内容は表3のとおりです。

表3 環境活動計画の主な取組内容

| 項目 | | 取組内容 |
|-----------|--------------|--------------------------------------|
| 二酸化炭素 | 電 気 | 昼休み時間は必ず消す |
| | | 使っていない部屋の照明は必ず消す |
| | | 退社する時はパソコンの電源を必ず切る(モニターも含めて) |
| | | 冷暖房の設定温度を守る(冷房：28℃ 暖房：25℃) |
| | ガソリン 軽 油 | 車両のアイドリングストップを徹底する |
| | | 急発進・急加速・空ぶかしをしない |
| | | 冷暖房を控えめに使う |
| | | 必要の無い荷物は積まない |
| | 灯 油 L P G | 冷暖房の使用条件を守る(冷房：暑さ指数30℃以上 暖房：気温20℃以下) |
| | | クールビズ・ウォームビズを徹底する |
| 廃棄物 | 一般 廃棄物 | 書類の内容を見直して枚数を少なくする |
| | | 両面印刷・両面コピーを徹底する |
| | | 裏紙の使用を徹底する |
| | | スキャニングを徹底して書類をデータ化し、社内で共有する |
| | 産業 廃棄物 | 各種類の産業廃棄物の分別を徹底する |
| | | 一般のゴミが混ざらないよう、定期的にチェックする |
| 排水量 | 節 水 | 水を出しっぱなしにしない |
| | | 蛇口・配水管の水漏れがないか確認する |
| | | 節水の表示をする |
| 環境配慮工事の推進 | | 周辺環境に対して、施工上の配慮事項を提案する |
| グリーン購入 | | 排ガス対策・低騒音・低振動型の重機を使用する |
| グリーン購入 | | 消耗品・事務用品はエコ商品を優先して購入する |
| 社員教育 | | 朝礼・掲示板・メールを利用して社員に周知し、理解を深める |
| | | 環境に関連したセミナーに積極的に参加して意識を高める |
| 地域貢献 | | 地元の学生のインターンシップを受け入れる |
| | | 地域や各協会の清掃活動等に積極的に参加する |

6 環境目標の実績

当社では、環境目標の達成状況の確認・評価を行いました。今回は、平成29年度全体（平成29年1月～12月）の実績と評価結果について、表4のとおり報告致します。
 なお、総量のほかに補助指標として「総売上高比」でも達成状況の確認を行います。

表4 当該年度の環境目標の達成状況等

○：達成 ×：未達成 CO₂：二酸化炭素排出量
 総売上高比：売上百万円当たりの二酸化炭素排出量

本社

| 項目 | 単位 | 基準値 | 平成29年度 | | | 達成状況 |
|------------------------|--------------------|--------|----------|--------|--------|------|
| | | | 目標 | 目標値 | 実績値 | |
| 電力(CO ₂) | kg-CO ₂ | 21,548 | 3.0%削減 | 20,902 | 19,240 | ○ |
| 総売上高比 | kg/百万円 | 18.53 | | 17.97 | 7.92 | |
| LPG(CO ₂) | kg-CO ₂ | 9,412 | | 9,129 | 10,663 | ○ |
| 総売上高比 | kg/百万円 | 8.09 | | 7.85 | 4.39 | |
| ガソリン(CO ₂) | kg-CO ₂ | 40,015 | | 38,814 | 29,516 | ○ |
| 総売上高比 | kg/百万円 | 34.41 | | 33.37 | 12.16 | |
| 灯油(CO ₂) | kg-CO ₂ | 1,321 | | 1,281 | 897 | ○ |
| 総売上高比 | kg/百万円 | 1.14 | | 1.10 | 0.37 | |
| CO ₂ 合計 | kg-CO ₂ | 72,295 | | 70,126 | 60,316 | ○ |
| 総売上高比 | kg/百万円 | 62.16 | | 60.30 | 24.84 | |
| 一般廃棄物排出量 | kg | 2,370 | | 2,299 | 1,600 | ○ |
| 総売上高比 | kg/百万円 | 1.09 | | 1.06 | 0.66 | |
| グリーン購入 | 購入率(%) | 購入率20% | 購入率30%以上 | | 購入率39% | ○ |

現場

| 項目 | 単位 | 基準値 | 平成29年度 | | | 達成状況 | |
|------------------------|--------------------|---------|--------|---------|---------|------|---|
| | | | 目標 | 目標値 | 実績値 | | |
| ガソリン(CO ₂) | kg-CO ₂ | 75,222 | 3.0%削減 | 72,965 | 56,731 | ○ | |
| 総売上高比 | kg/百万円 | 34.62 | | 33.58 | 23.37 | | |
| 軽油(CO ₂) | kg-CO ₂ | 457,897 | | 444,160 | 269,805 | ○ | |
| 総売上高比 | kg/百万円 | 262.25 | | 254.39 | 111.12 | | |
| 灯油(CO ₂) | kg-CO ₂ | 18,366 | | 17,815 | 7,598 | ○ | |
| 総売上高比 | kg/百万円 | 10.52 | | 10.20 | 3.13 | | |
| CO ₂ 合計 | kg-CO ₂ | 551,484 | | 534,940 | 334,134 | ○ | |
| 総売上高比 | kg/百万円 | 253.79 | | 246.18 | 137.62 | | |
| 産業廃棄物排出量 | t | 125.39 | | 121.63 | 12.96 | ○ | |
| 総売上高比 | t/百万円 | 0.0718 | | 0.0697 | 0.0053 | | |
| 環境配慮工事の推進 | 件 | 2件 | | 2件 | | 4件 | ○ |

注：産業廃棄物排出量の集計期間は平成29年4月～平成30年3月

環境活動の状況

| 項目 | 回数・日時 | 活動名 | 参加人数 |
|------|---------------|---------------------|------|
| 安全 | 毎週 | 安全朝礼 | 全員 |
| | 毎月 | 安全衛生委員会 | 6名 |
| | 年1回 | 安全大会 | 全員 |
| | 年1回 | 緊急事態訓練 | 各部署 |
| 社員教育 | H29. 5. 23 | 建設産廃物の適正処理に係る講習会 | 1名 |
| | H29. 6. 12 | 未加入者向けJWNET導入実務研修会 | 1名 |
| | H29. 7. 14 | 産業廃棄物処理実務者研修会 基礎コース | 1名 |
| | H29. 7. 26 | エコスタッフ養成セミナー | 2名 |
| | H29. 10. 4 | 産業廃棄物排出事業者等説明会 | 1名 |
| 地域貢献 | H29. 4. 13 | 北上川河川敷清掃活動 | 15名 |
| | H29. 5. 16 | 太田幹線排水路アドプト活動 | 5名 |
| | H29. 7. 14 | 建設業ふれあい事業(小学校) | 1名 |
| | H29. 8. 9 | 太田幹線排水路アドプト活動 | 10名 |
| | H29. 8. 10 | 「道の日」清掃活動 | 4名 |
| | H29. 9. 16 | 市民植樹祭 | 1名 |
| | H29. 9. 20 | 「空の日」清掃活動 | 3名 |
| | H29. 9. 26~28 | インターンシップ(高校) | 3名 |
| | H29. 10. 2~5 | インターンシップ(高校) | 2名 |
| | H29. 10. 6 | 建設業体験実習(高校) | 1名 |
| | H29. 10. 26 | 建設業ふれあい事業(中学校) | 1名 |

実績についての評価

【本社】

昨年度と同様でLPGの二酸化炭素排出量のみ目標値を上回る結果となりましたが、総売上高比で見た場合は改善されており、今年度も全項目で目標達成となりました。

取組内容も社員に浸透してきていると思うし、年々二酸化炭素排出量が削減できているのは、設備の更新だけでなく取組みを継続していることも要因の一つだと思います。

【現場】

昨年度は総量目標で未達成であったガソリンの二酸化炭素排出量も目標達成となり、今年度は総量目標で全項目が目標達成となりました。各現場の施工条件や施工内容が違っているので燃料消費量や産業廃棄物排出量などは毎年バラツキがあり、一概に比較することはできませんが、取組みを継続している成果は出ていると思います。

7 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容

1 取組結果の評価

表5 環境活動計画の主な取組内容と評価

| 項目 | | 取組内容 | 評価 |
|-------------------------------|--------------|--------------------------------------|----|
| 二酸化炭素 | 電 気 | 昼休み時間は必ず消す | ○ |
| | | 使っていない部屋の照明は必ず消す | ○ |
| | | 退社する時はパソコンの電源を必ず切る(モニターも含めて) | ○ |
| | | 冷暖房の設定温度を守る(冷房：28℃ 暖房：25℃) | ○ |
| | ガソリン 軽 油 | 車両のアイドリングストップを徹底する | ○ |
| | | 急発進・急加速・空ぶかしをしない | ○ |
| | | 冷暖房を控えめに使う | ○ |
| | | 必要の無い荷物は積まない | ○ |
| | 灯 油 L P G | 冷暖房の使用条件を守る(冷房：暑さ指数30℃以上 暖房：気温20℃以下) | ○ |
| | | クールビズ・ウォームビズを徹底する | ○ |
| 廃棄物 | 一般 廃棄物 | 書類の内容を見直して枚数を少なくする | △ |
| | | 両面印刷・両面コピーを徹底する | ○ |
| | | 裏紙の使用を徹底する | ○ |
| | | スキャニングを徹底して書類をデータ化し、社内で共有する | △ |
| | 産業 廃棄物 | 各種類の産業廃棄物の分別を徹底する | ○ |
| | | 一般のゴミが混ざらないよう、定期的にチェックする | ○ |
| 適切に処理するよう、 manifests の管理を徹底する | ○ | | |
| 排 水 量 | 節 水 | 水を出しっぱなしにしない | ○ |
| | | 蛇口・配水管の水漏れがないか確認する | ○ |
| | | 節水の表示をする | ○ |
| 環境配慮工事の推進 | | 周辺環境に対して、施工上の配慮事項を提案する | ○ |
| | | 排ガス対策・低騒音・低振動型の重機を使用する | ○ |
| グリーン購入 | | 消耗品・事務用品はエコ商品を優先して購入する | ○ |
| 社 員 教 育 | | 朝礼・掲示板・メールを利用して社員に周知し、理解を深める | ○ |
| | | 環境に関連したセミナーに積極的に参加して意識を高める | ○ |
| 地 域 貢 献 | | 地元の学生のインターンシップを受け入れる | ○ |
| | | 地域や各協会の清掃活動等に積極的に参加する | ○ |

○：評価できる △：まずまず評価できる

2 次年度の取組内容

- (1) 二酸化炭素排出量の削減
取組みは引続き継続し、更新が必要な設備は更新する
- (2) 廃棄物の排出削減
取組みは引続き継続し、ゴミの分別を今まで以上に徹底する
- (3) 節水
引続き取組内容の周知を徹底し、電気量の削減に反映させる
- (4) 環境配慮工事の推進
引続き継続して実施する
- (5) グリーン購入
引続き周知を徹底させる
- (6) 社員教育
環境関連のセミナーの受講を推進し、理解を深める
- (7) 地域貢献活動
積極的に参加し、環境に対しての意識を高める

8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受ける環境関連法規について、遵守状況をチェックしたところ違反はありませんでした。

また、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情・訴訟等についても問題がありませんでした。

9 代表者による全体評価と見直しの結果

| 見直し項目 | 評価 | 改善及び指示 |
|--|--|-------------------------|
| 環境方針 | 取組みを始めた時と比べると、社員全員の意識は向上していると思う。 | 特になし。 |
| 環境目標 | 概ね達成できている。 | 特になし。 |
| 環境活動計画及び環境経営システム | 概ね達成できている。 | 特になし。 |
| その他 | 清掃活動をずっと継続していることは、「健康第一」という衛生上の方針にも繋がるので評価できる。 | 取り組みに必要なものがある場合は提案すること。 |
| 全体評価 | | |
| <p>今年度は4月から新規の事業として林業を始め、建設現場の工事量としては昨年度と比べて減少している。そのような状況でも全項目で目標を達成できていることは評価できる。平成30年度も引続き取組みを継続すること。また、「健康第一」という衛生上の方針を徹底するためにも、日常の手洗い・うがいの励行及び会社内・現場内の5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を今まで以上に徹底すること。</p> | | |